



校訓「強く 正しく 明るく」

教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」

目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」

集中して頑張る「学力充実タイム」！

以前は放課後に行っていた「学力充実タイム」を昨年度から毎週火曜日と木曜日の朝活動の時間に行っています。15分と短時間ですが、集中して行うことができます。写真は、4年生の取組の様子。課題が終わったら自分で取り組むことを見つけ、少しの時間も無駄にせず、黙々と学習を進めていました。



- 2月初旬に実施した標準学力検査結果の学校全体についての総合所見では、
- 児童個々の平均期待学力と実際の平均学力の対比結果は、実際の平均学力が期待水準を上回っており、全体的に学業志向の高い学校であること
 - 学業促進的な児童は半数程度に達しており、学力の伸びのよい児童が多い学校。学業不振と思われる児童の割合は理論比の2分の1であること
- などが述べられていました。

これからの社会では、前例のない課題や予測不能な問題に対して、自ら探求し考え、なかま対話を重ねながら最適解・納得解を見いだす力が求められています。そのためにも、学力充実タイムはもとより、日々の授業を大切に、基礎的な学力、思考力や判断力、表現力をしっかり培っていききたいと思います。

自分の命を守る「自転車教室」4月25日(木)

雨天のため1日順延して実施した自転車教室。写真は5年生の取組の様子です。



山鹿警察署から簡易信号機をお借りし、グラウンドに交差点を再現し、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方等を確認しました。

- ①定期的に自転車の安全点検を行う。
 - ②ヘルメットを被り、あごひもをしっかり締める。
 - ③ジュースを飲むなど「ながら運転」をしない。
 - ④1列で走行する。(並進しない)
 - ⑤学年ごとの乗車範囲を守る。
- 本校区には3号線を有しています。
①～⑤のことについて、ご家庭でも語り込みや声かけをお願いします。



6年生 になりたい自分を絵に込めて

左から梅原はるまさん、長瀬みずきさんの作品です。最上級生としての強い思いが絵にも、毛筆で書いた力強い文字にも現れていますね。開校150年目の最上級生の6年生。



左はその6年生の靴箱です。靴のかかどが靴箱のへりにきちんとそろえられていました。八幡小3つの宝の1つ「きちんとくつをそろえる」の、日常的な実践ができています。子どもの頃に身につけたよい習慣は、その後の人生を支え、豊かにします。当たり前のように自然にできることをめざします。残る2つの宝「元気よくあいさつ」「進んでちり拾い」も大切にしていきたいと思っています。

ちょこ・ぺた・ぴん・とんの正しい姿勢で健康な体をつくる

学年始めの4月・5月に、学習に向き合う態度づくりを行っています。チャイム前着席、チャイムで黙想。心を静かに落ち着け、授業に臨んでいます。

軽度を含めると、子どもの100人に1人に見られ、女子では50人に1人見られるという、非常に身近な病気に脊柱側湾症が挙げられます。脊柱(背骨)が何らかの原因で曲がってしまう病気だそうです。

ご家庭でテレビを視聴したりゲームをしたりするとき、子どもたちの姿勢はどうでしょうか。側湾がひどくなると背中や腰に痛みが出る他、呼吸器や心臓にも障がいが出るということです。

学校では子どもたちが健やかに成長できるよう正しい姿勢を指導しています。写真は、「ちょこ・ぺた・ぴん・とん」の正しい姿勢で授業を受けていた5年生の月足たいようさんです。さすが高学年ですね。

子どもたちが100年使う大切な体です。ご家庭でも、姿勢について気にかけていただければと思います。

